

第3回加茂市立小中学校適正規模等検討委員会 会議報告書

- 1 開催年月日 令和4年2月10日(木) 13:30~16:30
- 2 会場 加茂市役所 5階 第1委員会室
- 3 出席者(敬称略) 委員:遠藤英和(会長)・滝沢茂秋・中村幸一・中山勇・皆川輝一・平野政幸・茂野芳子・市村正子・高畑結城子・目黒悦子・笹川裕子 ※オンライン参加…小出浩輔・松原啓 (計13名)
事務局:山川教育長・草野庶務課長・北原学校教育課長・吉田学校教育課課長補佐・有本社会教育課長・五十嵐スポーツ振興課長・長澤庶務課係長・牛腸庶務課主査
オブザーバー:太田正純教育委員
※オンライン参加…乙川智子教育委員・藤田和子教育委員

4 会議の概要

○開会

○会長挨拶

○議事 議長:遠藤英和会長

I 第2回加茂市立小中学校適正規模検討委員会(学校視察)終了後にいただいた質問と回答

II 小規模校/複式学級/大規模校について考えてみる

III スクールバスの運行について考えてみる

IV 部活動について考えてみる

V 建物の維持・修繕について考えてみる

VI 今後のスケジュールについて

○その他

○閉会



□加茂市立小中学校適正規模等検討委員会(委員19名)は、加茂市教育委員会の諮問機関として令和3年8月に発足、これまで学校視察などを行ってきた。

□将来の望ましい教育環境や目指すべき基本的な方向性をまとめ、令和4年10月の答申を目指している。

□第3回会議では、事務局より児童生徒数(学級数)の減少に伴い教職員の配当数も減少すること、加配でカバーしている複式学級の対象が増えること、学校規模によるメリット・デメリット、部活動数の減少、改修や遅れている耐震化にかかる費用の試算等について説明を行った。

□委員より、「小規模校の良さもあるが、クラス替えがあった方がコミュニケーション能力を高められる」、「中学校の教科指導体制をつくるには学校の集約が必要」、「選択肢が少ない部活動を改善するには全ての中学校が合同で活動してはどうか」等の意見を出し合った。

□次回会議は4月の開催を予定。今回出し合った意見を参考に、望ましい教育環境に関する基本的な考え方などを議論する。